

逗子市消防署北分署建て替え・消防団第5分団詰所移転計画に関するパブリックコメントの実施結果について

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。
お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表いたします。

1. 意見募集の期間 令和7年2月7日(金)～3月10日(月)
2. 意見の数 4件
3. 意見提出人数 2人(郵送0人、FAX0人、メール2人、持参0人 / 個人1人、団体1件)
4. 意見内容の概要

区分	件数
<設計に当たっての考え方>への追記の提案	1件
現庁舎の場所に新庁舎を建設する計画の見直し	1件
鎌倉水道営業所逗子分館敷地に新庁舎を建設して欲しい	1件
第5分団詰所跡地は市民参加手続きを経た利活用をして欲しい	1件
合計	4件

5. 市の対応区分

記号	対応区分	件数
○	意見を反映し、素案を修正するもの	0件
□	意見の趣旨や考え方が既に素案に盛り込まれているもの	0件
■	意見は反映させないが、今後の事業実施時等に参考とするもの	1件
▲	ご意見を反映することが困難なため、素案どおりとしたもの	2件
◆	今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見として扱うもの	1件
	合計	4件

6. 意見の内容と市の対応

意見概要	整理番号	意見内容	採否	意見数	採否の理由
＜設計に当たったの考え方＞への追記の提案	1	逗子市消防署北分署建て替え・消防団第5分団詰所移転計画に係る基本設計(案)、P.4 2 設計にあたっての考え方(1)ウ 逗子市の脱炭素宣言「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル2050」に則り、太陽光パネルや蓄電池等の自立分散型エネルギーシステムを備え、可能な限りエネルギー収支ゼロを目指す施設とするとともに、災害等により電力供給が途絶した場合においても、建物内に必要な電力を供給可能な建物とする。 空調については、停電時でも使用できる設備の導入を検討します。さらに、建物で使用するエネルギーは、実質再生可能エネルギー由来の電気屋カーボンオフセット都市ガス等を導入します。 (太線下線部の追記)	◆	1件	逗子市消防署北分署建て替え・消防団第5分団詰所移転計画に係る基本設計(案)への追記はせず、設計時に、打ち合わせの中で意見内容について検討することとします。
現庁舎の場所に新庁舎を建設する計画の見直し	2	現庁舎の場所に新庁舎を建設する計画の見直しを切望します。懸念するリスクとして、浸水災害、津波災害、液状化災害、軌道崩壊が挙げられ、大規模災害時に継続的な消防機能の確保や防災拠点としての役割が果たせない可能性がある。	▲	1件	新庁舎の建設予定地については、複数の候補地を選定し、ご指摘いただいた懸念されるリスクを含め検討した結果、最終的に現在の計画となりました。大規模災害時に継続的な消防機能の確保や防災拠点としての役割を果たすため、懸念されるリスクについて、リスクマネジメントできる庁舎となるよう設計の際に十分に検討していきます。
鎌倉水道営業所逗子分館敷地に新庁舎を建設して欲しい	3	鎌倉水道営業所逗子分館敷地に新庁舎を建設することを切望します。理由として、地盤が強固な岩盤であるため大地震に対して液状化のリスクがないこと、ハザードマップによれば津波や水害の浸水リスクが無いこと、建物の基礎工事が安価で済むため工期が短縮できること、引越が一回で済むこと、更に市の応急給水業務の拠点となりえる注水施設や機材が揃っていることが挙げられます。背後の山斜面の土砂災害リスクは急傾斜地崩壊危険区域の指定を受けているため、県で防災工事を行うことも可能だと思います。敷地の購入、借地又は、庁舎を独自で建てるか県と案分するか等将来を見据え県と協議することを望みます。	▲	1件	神奈川県企業庁鎌倉水道営業所逗子分館敷地は、令和元年に消防用地への転用について県との協議を行いました。当該地には土砂災害警戒区域に指定された山林が含まれており、防災対策を含めた山林の管理に多額の予算が見込まれることから、断念した経緯があります。今回、改めて検討をしましたが、最終的に現在の計画となりました。
第5分団詰所跡地は市民参加手続きを経た利活用をして欲しい	4	第5分団詰所跡地は市民参加手続きを経た利活用を切望します。	■	1件	第5分団詰所用地は民有地であるため、利活用については、土地所有者との調整が必要となります。現時点での利活用の計画はありませんが、会館機能の廃止については、同地域内の地域活動センター(山の根親交会館、久木会館)及び市民活動センターを紹介し地域コミュニティー喪失の契機とならないよう配慮していきます。
合計				4件	